

RYOBI

2009年3月期 決算資料(詳細)

2009年5月28日

リョービ株式会社

当資料には、当社の計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が含まれています。

これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、これにはリスクおよび不確実な要素が含まれています。

当社の実際の行為、業績は、経済情勢、事業環境、需要動向、為替動向等により、将来予想とは大きく異なる可能性があります。

■目次

- ① 2009年3月期 連結業績概要
- ② 2010年3月期 連結業績予想
- ③ 同 事業別の状況

3

2009年3月期
連結業績概要

4

■業績の概要

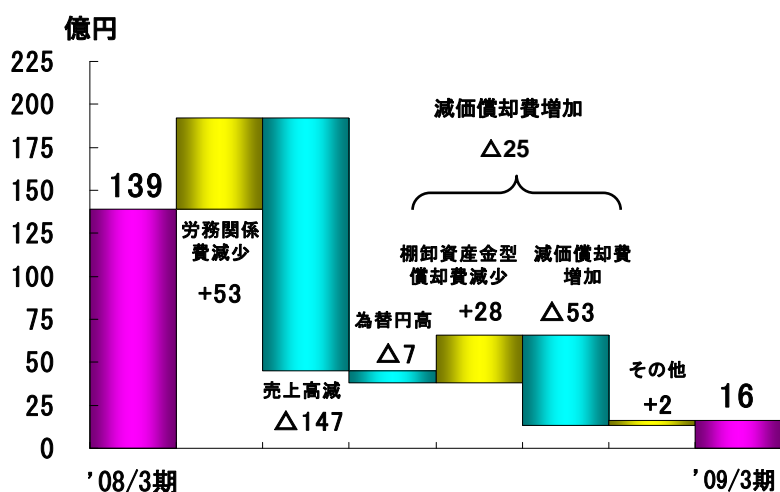
- ・減収、減益。
- ・急激な経営環境悪化による売上の激減に加え、減価償却費の負担増などにより、大幅に利益が減少。

単位：億円

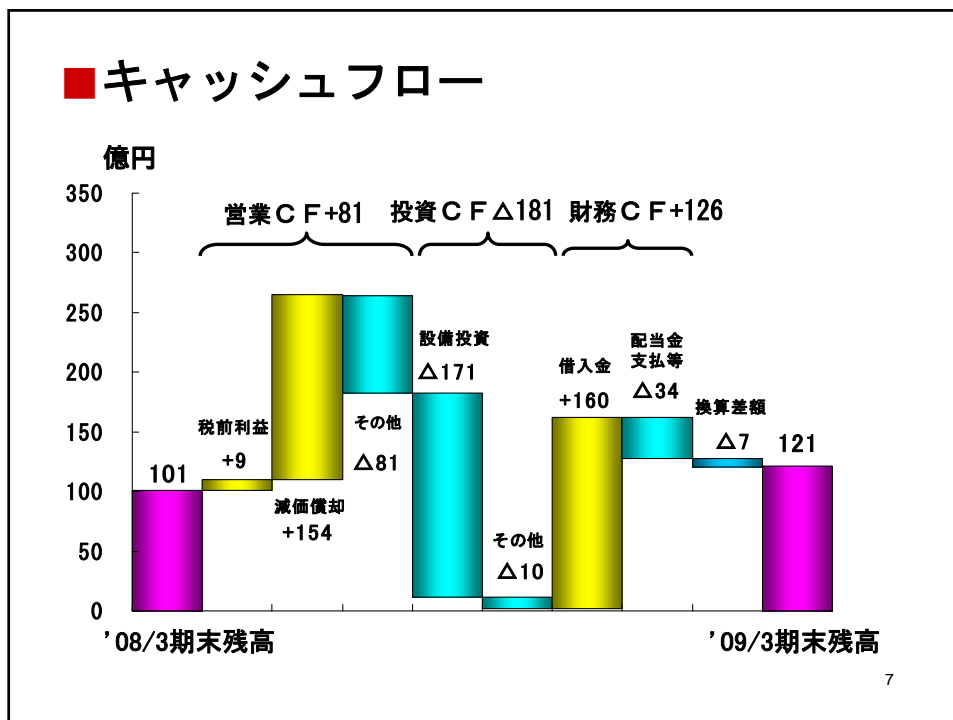
	'07/3期 (利益率%) 実績	'08/3期 (利益率%) 実績①	'09/3期 (利益率%) 実績②	前期比 ②-① <増減率%>
売上高	2,047	2,162	1,763	△398 <△18.4>
営業利益	(8.0) 164	(6.6) 142	(1.0) 18	△124 <△87.3>
経常利益	(8.0) 164	(6.4) 139	(0.9) 16	△123 <△88.7>
当期純利益	(4.8) 99	(3.8) 82	(0.1) 2	△80 <△98.0>
	'07/3期末 実績	'08/3期末 実績①	'09/3期末 実績②	前期末比 ②-① <増減率%>
総資産	2,025	1,960	1,672	△288 <△14.7>
利益剰余金	340	392	366	△26 <△6.7>
有利子負債	383	452	586	134 <+29.7>

5

■経常利益増減要因



6



■ 事業別の業績

・ダイカスト、印刷機器、住建機器の全事業で減収、減益。

単位：億円

	'07/3期 (構成比%) 実績	'08/3期 (構成比%) 実績①	'09/3期 (構成比%) 実績②	前期比 ②-① <増減率%>
売上高				
ダイカスト	(67.7) 1,386	(68.7) 1,486	(69.6) 1,228	Δ258 <Δ17.4>
印刷機器	(19.5) 398	(18.9) 410	(16.7) 294	Δ116 <Δ28.3>
住建機器	(12.8) 262	(12.3) 266	(13.7) 241	Δ25 <Δ9.4>
営業利益 (利益率%)				
ダイカスト	(6.3) 88	(5.1) 76	(0.4) 5	Δ72 <Δ94.0>
印刷機器	(14.7) 59	(12.1) 49	(1.9) 6	Δ44 <Δ88.8>
住建機器	(6.5) 17	(6.2) 16	(3.3) 8	Δ9 <Δ51.7>

8

■事業別営業利益の減益要因

①ダイカスト (△72億円)

- ・自動車メーカーの減産による受注量の大幅減少に加え、減価償却費の負担増加などにより、大幅な減益。

②印刷機器 (△44億円)

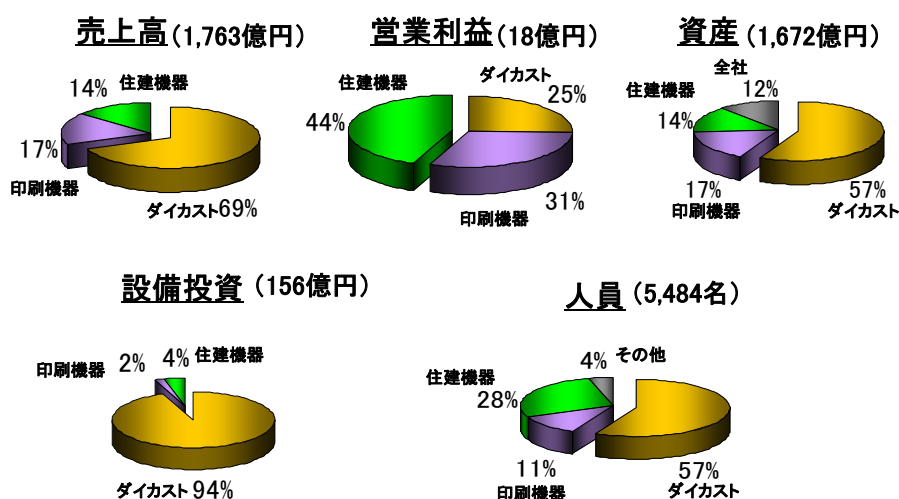
- ・印刷業界の設備抑制や円高の進行により特に海外売上高が減少し、大幅な減益。

③住建機器 (△9億円)

- ・国内住宅着工戸数の減少や個人消費の減退などによる売上の減少が影響し減益。

9

■事業別構成比('09/3期)



10

2010年3月期 連結業績予想

11

■ 経営環境

- ・ 世界的な金融危機と世界同時不況の長期化。
- ・ 国内外の底が見えない景気後退。
- ・ 世界の自動車産業の不振。
需要回復には時間を要する。
- ・ 為替相場、株式市場、資源価格などの
急激な変化。

12

■ 為替レート

※海外子会社財務諸表換算レート

	'09/3期	輸出入レート	'10/3期想定レート
		※換算レート	
US \$		100円	90円
		104円	(25百万円)
EUR		143円	115円
		-----	(10百万円)
stg £		173円	130円
		197円	(5百万円)

()内は1円変動した場合の年間の営業利益影響額。

13

■ 業績予想

・減収、減益

単位：億円

	'08/3期	'09/3期	'10/3期	前期比	
	(利益率%) 実績	(利益率%) 実績①	予想②	②-①	<増減率>
売上高	2,162	1,763	1,230	△533	<△30.2>
営業利益	(6.6) 142	(1.0) 18	△44	△62	< ->
経常利益	(6.4) 139	(0.9) 16	△51	△67	< ->
当期純利益	(3.8) 82	(0.1) 2	△42	△44	< ->

14

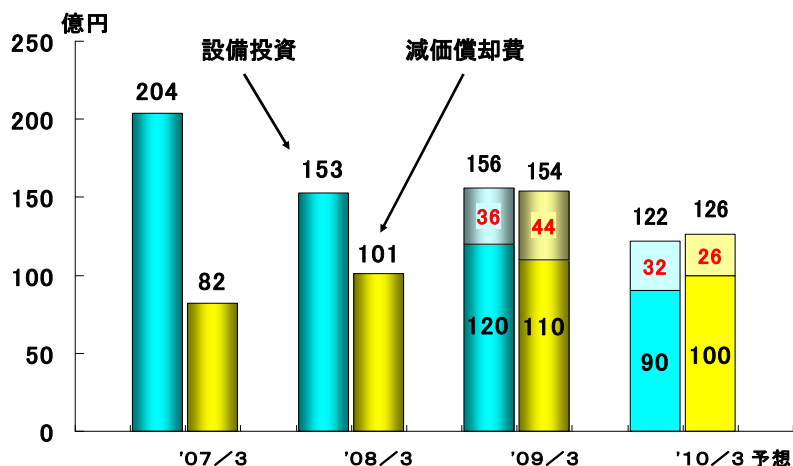
■ 営業利益の主な増減要因 ('09/3期比)

単位：億円

要 因	影響額
減 少 計	△153
売上高減少の影響	△142
為替変動(円高)	△ 11
増 加 計	+91
労務関係費等の削減	+57
減価償却費減少	+28
その他経費削減	+ 6

15

■ 設備投資と減価償却費



'09/3期から一部の金型の会計処理を棚卸資産から固定資産に変更。これにより設備投資、減価償却費に計上される金型分を赤字で示す。

16

事業別の状況

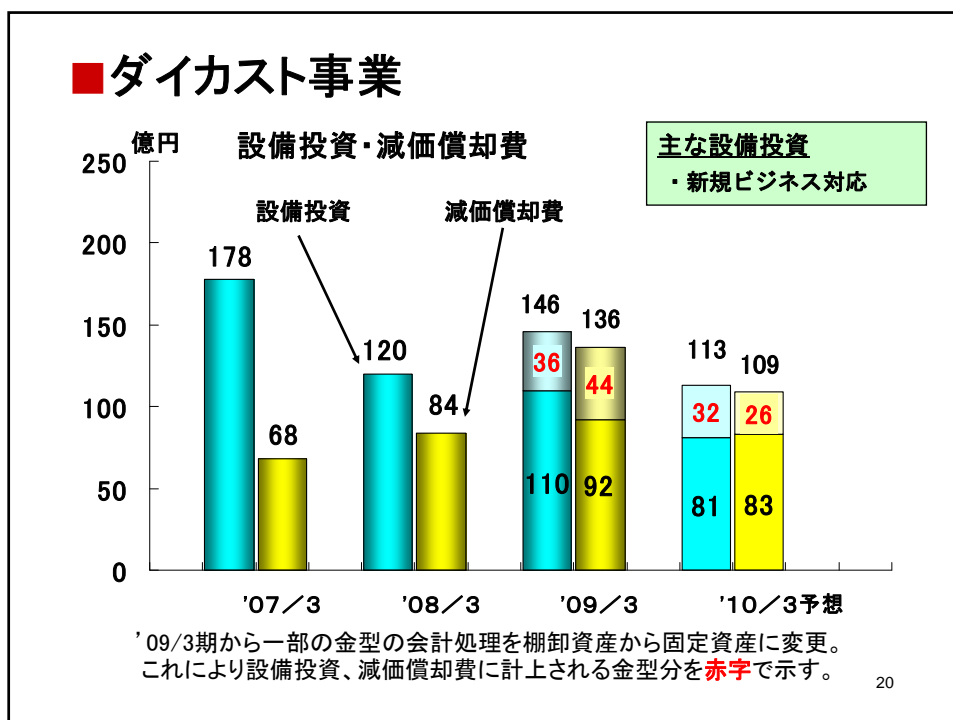
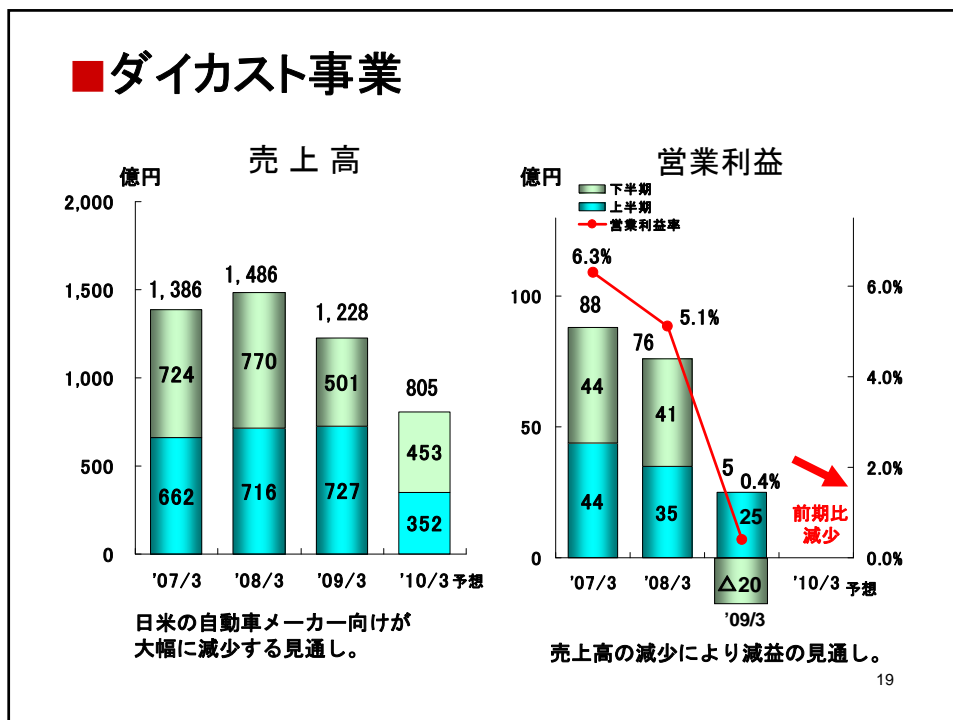
17

■事業別の業績

単位：億円

	'08/3期 (構成比%) 実績	'09/3期 (構成比%) 実績①	'10/3期 (構成比%) 予想②	前期比 ②-① <増減率%>
売上高				
ダイカスト	(68.7) 1,486	(69.6) 1,228	(65.4) 805	△423 <△34.4>
印刷機器	(18.9) 410	(16.7) 294	(16.7) 205	△89 <△30.4>
住建機器	(12.3) 266	(13.7) 241	(17.9) 220	△21 <△8.8>
営業利益 (利益率%)	(利益率%)			
ダイカスト	(5.1) 76	(0.4) 5		減少
印刷機器	(12.1) 49	(1.9) 6		減少
住建機器	(6.2) 16	(3.3) 8		増加

18



■ダイカスト事業

GMとの取引について

- ・米国、カナダ、メキシコ向け取引の売上債権残高
約100万米ドル(5月末の見込み)
- ・今後の方向性
GMの将来展開にあわせて
最適な生産・販売活動を実施

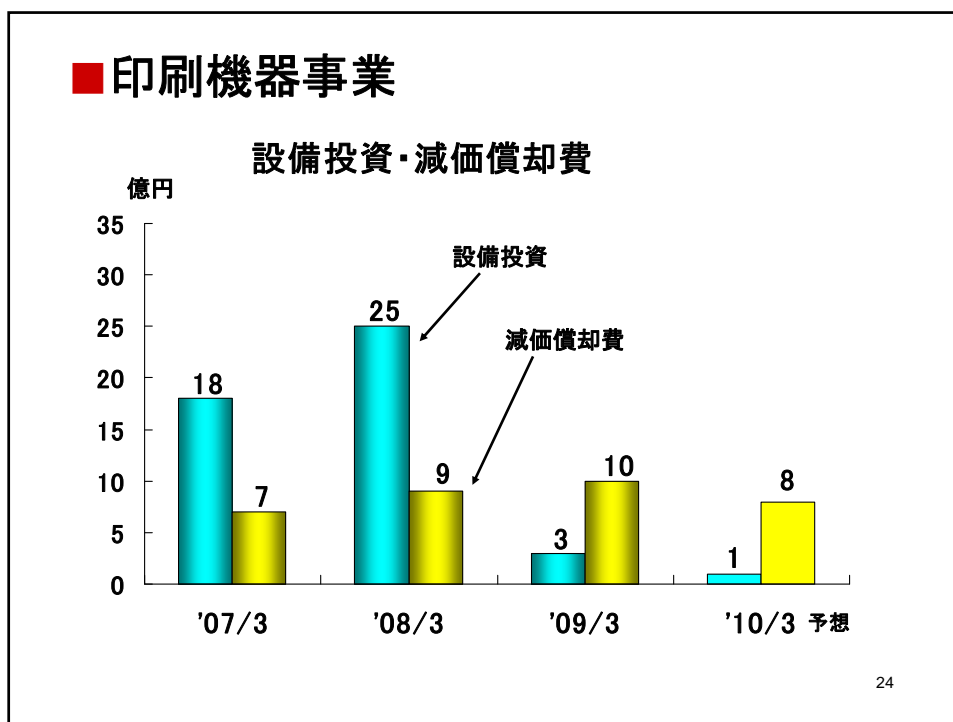
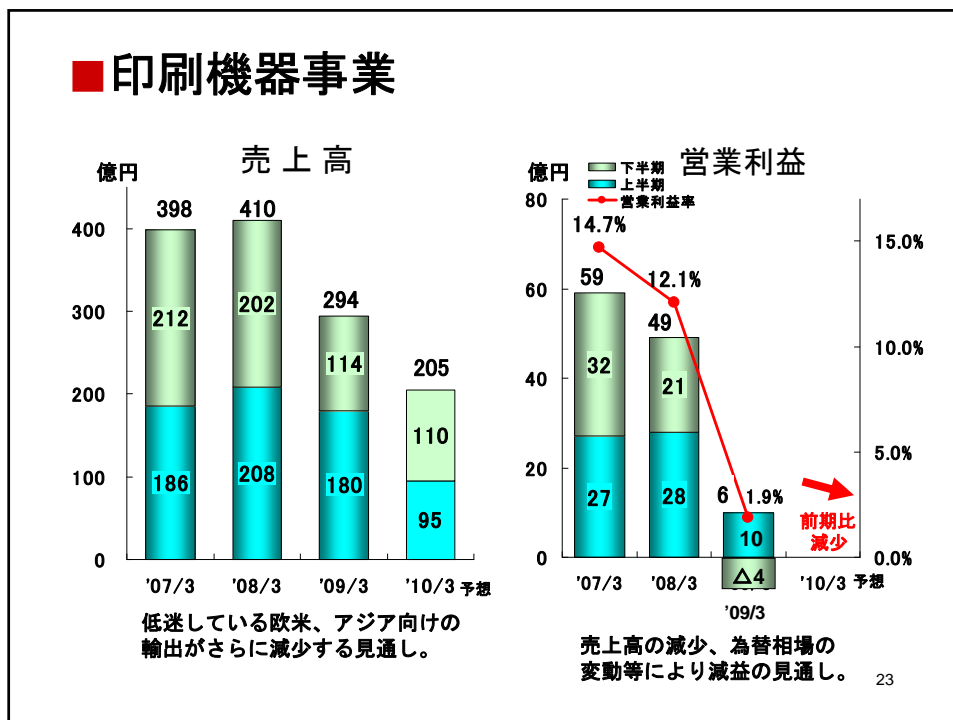
21

■ダイカスト事業

将来の事業展開の方向性

- <開 発> パワートレイン部品以外の自動車部品のダイカスト化を促進
- <生 産> 生産量が減少しても利益を出せる生産体制の構築
- <販 売> グローバルな販売体制による世界の自動車メーカーからの受注拡大

22



■印刷機器事業



「RYOBI 1050」シリーズ <B1サイズ>
(' 10/3期より納入開始予定)



「RYOBI 750G」シリーズ <B2サイズ>

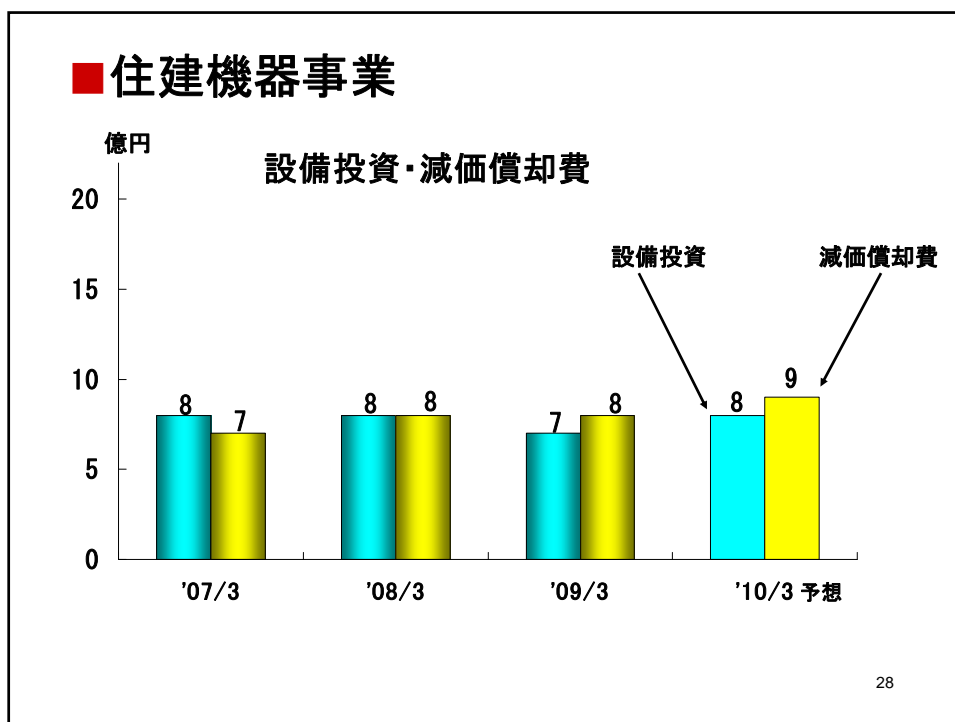
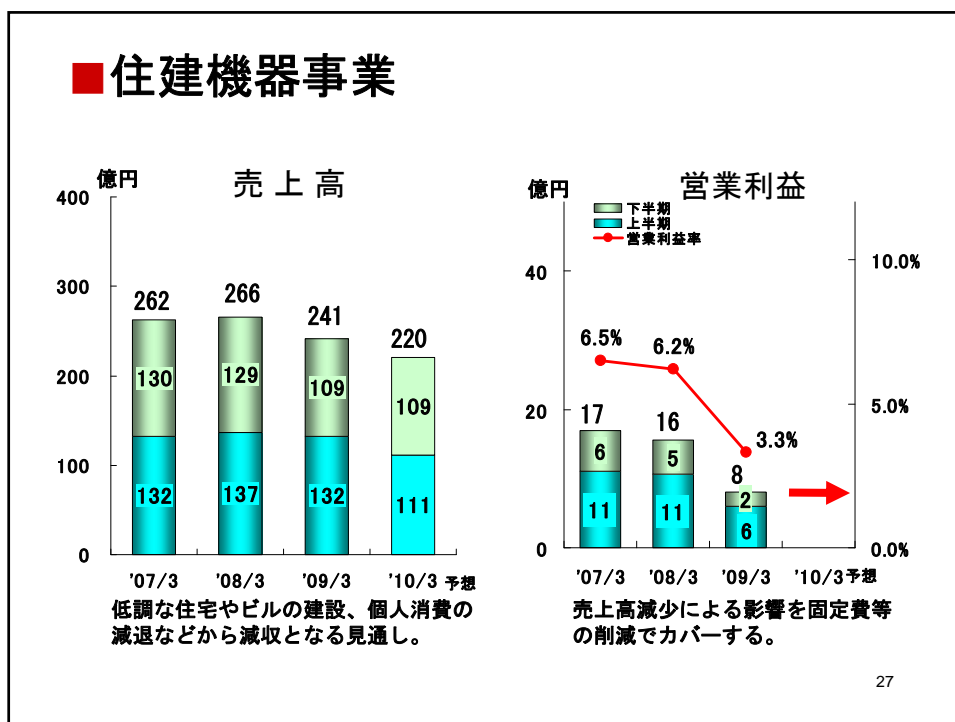


「RYOBI 520GX」シリーズ <A3サイズ>
25

■印刷機器事業

将来の事業展開の方向性

- <開 発> マーケットニーズに合った商品の拡充
 - ・大型機、バリエーション、多様な印刷
 - ・環境に配慮した商品開発
- <生 産> 生産量が減少しても利益を出せる
生産体制の構築
- <販 売> グローバルな販売・サービス体制の強化
によるシェアの拡大



■ 住建機器事業 (パワーツール)

石膏ボード(内壁材)やサイディングボード(外壁材)の切断に最適な電子集じん丸ノコ

使用頻度の高い切込み深さを設定しておく、切込み深さを変更しても調整レバーで設定した切り込み深さにワンタッチで戻すことができる。(業界初)

⇒ 作業効率の向上



電子集じん丸ノコ NW-420ED

切込み深さ
調整レバー



切込み深さ
設定ネジ

29

■ 住建機器事業 (パワーツール)

電源からの距離やコードを気にすることなく、作業ができる充電式芝刈機



充電式芝刈機 BLM-2300



大容量のリチウムイオン電池の採用。
(1回の100%充電で約30坪刈込むことが可能)



刈り込み高さの調節はダイヤルを回すだけの簡単操作。
(5~25ミリの間で無段階設定)

電気コード式の当社従来モデルに比べて、騒音値を約13%低減した静音設計。

30

■ 住建機器事業 (建築用品)



家庭用ドアクローザ



オフィス用ドアクローザ



工場やトンネルの大型ドア用
ドアクローザ

31

■ 企業理念

技術と信頼と挑戦で、
健全で活力にみちた企業を築く。

32